

2019 年度「FDを推進するための活動補助」報告書

札幌学院大学 学長 殿

2020 年 3 月 26 日

(申請者名) 森 直 久 (印)	(複数で申請の場合、参加教員の氏名) 久蔵 孝幸 (印)
(科目名) 臨床心理学基礎ゼミナール、心理学概論	(印)
<p>(取組の趣旨、実施計画、今年度の達成目標) の報告</p> <p>アクティブラーニング『学び合い』と、自己肯定感の向上に定評のある「できたことノート」を活用し、新入生の学修適応を推進することを目的とした。1年前期科目「臨床心理学基礎ゼミナール」と「心理学概論」を利用し全入生を対象にした。「臨床心理学基礎ゼミナール」は学部統一の内容とし、1年生担任団をあげてアクティブラーニングと「できたことノート」を実施した。「心理学概論」については履修者人数が大幅に減少したことから(複数クラス開講のため)、当初の計画を変更してアクティブラーニングを実施した。解答への即時フィードバック、授業後の振り返りは実施、パーティションによる集団凝集性向上は少人数のため必要なかった。アクティブラーニングに関する担任間の情報格差を解消するため、情報サイト「Find! アクティブラーナー」の利用を可能にしたが、随時行なわれた担任間のミーティングでのやり取り、関連図書の閲読によって代替された。「できたことノート」については、開発者である(株)ネットマン社長の永谷研一氏を「基礎ゼミナール」に招き、双方向的な講演と研修を実施した。「できたことノート」の後期以降の活用者を募り、永谷氏のネット回線による研修、web 掲示板による活用者ミーティングなどを行なった。</p> <p>アクティブラーニングの学部内啓発が推進され、教員会合での実践報告が行なわれた。来年度以降の継続的実施、学部全体での導入促進が確認された。「できたことノート」は継続実施が決定した。</p>	
<p>(期待された効果、他の授業科目への適用可能性) の報告</p> <p>基礎ゼミナールにおける『学び合い』マニュアル化が進められ、一応の完成を見、来年度は1年後期ゼミナールにも導入が進められている。「心理学概論」における『学び合い』の実践手続きが教員会合で説明され、一般科目での実施方法が学部教員に周知された。「Find! アクティブラーナー」の有効性は疑いがないと思われるが、個人契約した時の支払方法などが煩雑である、年間契約ができず実際には9か月程度の利用しかできないなど、利便性に問題があると思われた。</p> <p>「できたことノート」の有効性を「自己肯定感尺度」の事前事後比較によって測定しようとしたが、事前の値がすでに中の上(5点満点の4点弱)のためか目立った向上は示されず、次年度以降は測定時期(期待が高まっている4月初旬以外)や方法の改善が必要とされた。7月初旬の永谷氏の研修会に至るまで、ノートのつけ方が不十分(自己省察が足りない)な学生、日々の振り返りではなくまとめづけをする学生が散見された。より早い時期での研修実施が必要であること、不断の詳細な点検が必要であることがわかり、次年度は基礎ゼミ内で自己省察研修を毎週実施することにした。</p>	
<p>(所要経費及び実施時期) の報告</p> <p>履修者が身につけるネームプレートを年度初頭に購入した。『学び合い』全国大会関連費、永谷氏招聘交通費、宿泊費を7月から8月にかけて執行した。アクティブラーニング関連図書、「できたことノート」関連図書は年度を通じて購入し、基礎ゼミナール担当者を中心に回覧した。「Find! アクティブラーナー」契約費を3人分計上したが、1人分の執行にとどまった。</p>	
<p>(執行経費内訳)</p> <p>「消耗品」(ネームプレート、アクティブラーニング関連図書、「できたことノート」関連図書)「旅費」(永谷氏招聘交通費・宿泊費、申請者出張費)はほぼ満額執行、「システム使用料」(「Find! アクティブラーナー」契約費)は1人9か月分にとどまった。</p>	
・「消耗品」・・・¥50,417	・「出張旅費」・・・¥71,200
・「システム利用料」・・・¥7,044	・「旅費(永谷氏分)」・・・¥66,449
・	・
合 計 195,110 円	

記述欄が不足する場合は、拡張して下さい。